

- 問1 長野県の観光施設への訪問者数に関する統計において、東京都や京都府、沖縄県と比較した際の長野県の特徴として最も適切な説明を選びなさい。なお、この統計において長野県は「山・高原」の訪問者が1,000万人を超えており、「温泉」や「歴史・文化」の項目も高い数値を記録していますが、「ショッピングなどの都市型観光」の割合は他の都県に比べて低くなっています。（2017年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。 | 2. 温暖な気候と広大な海岸線を活かしたマリンスポーツが盛んであり、冬場の集客よりも夏場の観光客数が圧倒的に多い。 | 3. 最新の科学技術を表示するパビリオンや、大規模な国際会議場などのビジネス拠点としての施設が観光の中心となっている。 | 4. 巨大なショッピングモールやテーマパークを中心とした都市型のレクリエーション施設が、観光客を集める最大の要因となっている。 |
|---|---|---|---|
- 問2 中部地方を、太平洋に面した東海、内陸の中央高地、そして日本海側の北陸という3つの地域に区分したとき、北陸地方における気候と農業の特色について説明した文として、最も適切なものはどれか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬でも温暖な気候を活かして、キャベツなどの野菜の促成栽培が盛んに行われている。 | 2. 平地が少ないため、扇状地を利用して茶やミカンの栽培が大規模に行われている。 | 3. 年間を通じて降水量が少なく、気温の年較差が大きいため、ブドウや桃などの果樹栽培が中心である。 | 4. 冬の豊富な降雪が春の豊かな雪解け水となり、それを利用した大規模な稲作が行われている。 |
|--|--|---|---|
- 問3 中部地方は日本の製造品出荷額の多くを占めていますが、その中心的な要因となっている中京工業地帯の産業的特徴について述べた文として、適切なものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 自動車産業などの機械工業が高度に集積し、輸送用機械の割合が非常に高い。 | 2. 巨大な消費地である東京周辺を背景に、印刷業や食品工業が発達している。 | 3. 八幡製鉄所の設立以来、北九州を中心に鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が地域を支えている。 | 4. 古くから繊維工業や化学工業が発達し、中小規模の工場から大工場まで幅広く存在する。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問4 中部地方の日本海側が、世界でも有数の豪雪地帯となっている理由について述べた文として正しいものを、海流の性質と季節風の関係から選びなさい。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本海を北上する寒流の親潮が海水を冷却し、北東から吹く湿った季節風が中部地方の平野部で冷やされて雪を降らせるため。 | 2. 日本海を北上する暖流の対馬海流の上空で水蒸気が発生し、それが湿った北西の季節風によって運ばれ、高い山脈に突き当たるため。 | 3. 太平洋側を流れる暖流の黒潮から分かれた対馬海流が、冬の乾燥した季節風を冷やすことで、日本海側に霧を発生させるため。 | 4. 日本海を南下する寒流のリマン海流の影響で気温が下がり、太平洋側から吹き込む季節風が冷やされて雪に変わるため。 |
|--|---|--|---|
- 問5 中部地方の太平洋側に広がる中京工業地帯および東海工業地域について述べた文として、正しいものはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 岡山県倉敷市の水島地区などに大規模な石油化学コンビナートが形成され、原料の輸入に依存している。 | 2. 北九州市を中心に官営の製鉄所が建設されたことで発展し、現在も鉄鋼業が中心である。 | 3. 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。 | 4. 千葉県から茨城県にかけての臨海部において、大規模な掘り込み港を中心に重化学工業が発達した。 |
|--|---|---|--|
- 問6 富山市では、2000年代以降に公共交通機関を中心とした都市整備が進められました。2002年に発行された2万5千分の1地形図と比較して、2015年に発行された地形図から読み取ることができる、中心市街地の大きな変化として適切なものはどれか。（2024年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 路面電車の軌道が延伸され、JR富山駅周辺でループ状に接続された | 2. 中心市街地の道路がすべて歩行者専用道路となり、車両の通行が禁止された | 3. JR線の線路がすべて撤去され、跡地が大規模な公園として整備された | 4. 消防署がすべて変電所の北側に移転し、公共施設の集約が進んだ |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問7 中部地方を南北に縦断するように位置し、「日本アルプス」と総称される3つの山脈の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 飛騨山脈・越後山脈・関東山脈 | 2. 鈴鹿山脈・紀伊山地・四国山地 | 3. 奥羽山脈・北上高地・阿武隈高地 | 4. 飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈 |
|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
- 問8 長野県、岐阜県、富山県にまたがり、標高3000メートル級の険しい山々が連なる山脈について、通称「北アルプス」とも呼ばれる名称として正しいものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 木曽山脈 | 2. 日高山脈 | 3. 飛騨山脈 | 4. 赤石山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 北陸地方は日本海側に位置し、冬には季節風の影響で非常に多くの降雪量が見られます。このような自然環境のもとで、江戸時代以来の伝統技術や地元の原材料を活用した産業が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 広大な平野部において、冬でも温暖な気候を活かした二毛作が行われ、その加工品製造が広まった | 2. 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった | 3. 冬の強い季節風をエネルギー源とした大規模な機械工業が、江戸時代から沿岸部で発達した | 4. 豊富な雪解け水を工業用水として活用するため、冬の期間に限定して大規模な化学工業が行われた |
|---|---|--|---|
- 問10 中部地方各県の農業産出額の内訳を示した統計において、愛知県や長野県、静岡県などでは、産出額が最も多い上位品目の割合がいずれも全体の50パーセントに満たないという特徴が見られます。このような統計から読み取れる、これらの県における農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 地形や気候の制約により、生産できる農作物の種類が極めて限定されている | 2. 特定の作物のみを大規模に生産するモノカルチャー経済が確立されている | 3. 農業従事者の高齢化により、主要な品目の産出額が平均的に減少している | 4. 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
- 問11 日本の工業立地において、静岡県富山市周辺で製紙・パルプ工業が発達した背景と、富山県などでアルミニウム工業が発達した背景の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 富士市周辺は消費地である首都圏に近い利点を活かしたためであり、富山県などは近隣で産出される良質な石炭をエネルギー源としたため。 | 2. 富士市周辺は富士山の豊富な湧水を利用でき、富山県などは雪解け水などを利用した水力発電による安価な電力を利用できたため。 | 3. 富士市周辺は伝統的な和紙作りの技術を継承したためであり、富山県などは北陸工業地域の中心として機械工業との連携が強かったため。 | 4. 富士市周辺は広大な森林資源を背景とした木材供給が容易であり、富山県などは海外からの原料輸送に有利な大規模な港湾設備が整っていたため。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。	長野県は日本アルプスに代表される険しい山岳地帯に位置しており、その地形を活かした「山・高原」でのレジャーや、冬の積雪を利用した「スキー場」が大きな強みです。また、火山地帯であることから「温泉」が豊富であり、善光寺や松本城といった「歴史的な寺社や城跡」も併せ持っています。一方で、東京のような大規模な商業施設が集中する都市型観光の比重は相対的に低いのが特徴です。
問2	答え 4 冬の豊富な降雪が春の豊かな雪解け水となり、それを利用した大規模な稲作が行われている。	北陸地方は、冬に北西から吹く湿った季節風の影響で世界的な多雪地帯となります。春に溶け出す大量の雪解け水は、稲作に必要な灌漑用水として古くから活用されてきました。このため、新潟県の越後平野などの広大な平野では、日本を代表する稲作地帯が形成されています。他の選択肢にある「促成栽培」は高知県や宮崎県、「果樹栽培」は中央高地（山梨県など）、「茶やミカン」は静岡県などの東海地方の特色です。
問3	答え 1 自動車産業などの機械工業が高度に集積し、輸送用機械の割合が非常に高い。	中部地方の工業の中心である中京工業地帯は、日本最大の工業地帯です。特に自動車を中心とした輸送用機械の生産額が非常に大きく、このことが地方全体の製造品出荷額を押し上げる要因となっています。他の選択肢は、それぞれ京浜工業地帯、阪神工業地帯、北九州工業地域の解説です。
問4	答え 2 日本海を北上する暖流の対馬海流の上空で水蒸気が発生し、それが湿った北西の季節風によって運ばれ、高い山脈に突き当たるため。	日本海側を流れる暖流である対馬海流は、冬でも海水温が比較的高いため、その上空で多くの水蒸気が発生します。大陸から吹く冷たく乾いた北西の季節風が日本海を渡る際、この水蒸気をたっぷりと含んで湿った空気に変わります。この空気が中部地方の険しい山地（越後山脈など）にぶつかって上昇することで、日本海側に大量の雪を降らせる仕組みになっています。
問5	答え 3 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。	東海工業地域は静岡県を中心とした地域を指し、浜松市の楽器やオートバイ、磐田市の輸送機械、富士市の製紙業など、多様な加工組立産業や伝統的な地場産業が発展しているのが特徴です。他の選択肢は、瀬戸内工業地域、北九州工業地帯、鹿島臨海工業地域の記述です。
問6	答え 1 路面電車の軌道が延伸され、JR富山駅周辺でループ状に接続された	富山市では、公共交通を軸とした街づくりを進めるため、既存の路面電車の路線を延長・接続し、中心部を一周できる環状線（セントラム）の運行を開始しました。地形図の経年比較においても、駅周辺で途切れていた軌道がループ状に繋がる変化として捉えることができます。他の選択肢にあるような極端な公共施設の集約や鉄道の廃止は行われていません。
問7	答え 4 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈	日本アルプスは、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つで構成されています。これらはプレートの境界に近い場所に位置し、激しい地殻変動によって押し上げられたことで形成されました。
問8	答え 3 飛騨山脈	中部地方の中央部には標高の高い山脈がそびえており、そのうち最も北側に位置する飛騨山脈は「北アルプス」と称されます。これに木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）を合わせた3つの山脈が、日本の屋根とも呼ばれる日本アルプスを構成しています。
問9	答え 2 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった	北陸地方は冬に湿った北西の季節風が山脈にぶつかることで、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって屋外での農作業ができなくなるため、農家の人々が収入を得るための副業として、室内で行える伝統技術を用いた地場産業が発達しました。
問10	答え 4 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている	中部地方の多くの県では、平野部での稲作に加え、高冷地での野菜栽培、扇状地での果実栽培、都市近郊や山間部での畜産など、多様な地形や気候条件を活かした農業が行われています。そのため、一つの品目に依存するのではなく、農業産出額の上位品目が多岐にわたっており、産出額の構成における多様性が高いことが特徴です。
問11	答え 2 富士市周辺は富士山の豊富な湧水を利用でき、富山県などは雪解け水などを利用した水力発電による安価な電力を利用できたため。	製紙・パルプ工業は製造工程で大量の水を必要とするため、富士山の豊かな湧水が得られる静岡県富士市周辺で発達しました。一方、アルミニウムの精錬には極めて大量の電力を消費するため、「電気のはがし」とも呼ばれます。そのため、急流河川や雪解け水を利用した水力発電による安価な電力が得やすかった富山県などに工場が立地しました。